

千葉県上空の航空機騒音の改善に係る申入書

千 葉 市

平成 3 1 年 2 月 6 日

千葉市上空の航空機騒音の改善に係る申入書

2020年オリンピック・パラリンピックに向けた航空需要の増加に対応するための羽田空港機能強化に係る航空機騒音対策について、千葉県と関係市町で構成する「羽田再拡張事業に関する県・市町村連絡協議会」（以下「協議会」という。）を通じ、騒音影響の軽減、特に早朝・夜間時間帯への配慮を求めてきたところです。

しかし、今年1月に開催された協議会において、羽田空港機能強化に伴い、6時台、22時台の増便は行われられないものの、朝7時台、8時台などの隣接時間帯は増便されることが示されました。

羽田空港の着陸機による航空機騒音については、これまで千葉県側で一手に引き受けてきました。特に、南風好天時は着陸機が本市上空に集中しており、飛行高度の引上げ等が行われましたが、依然として市民からは多くの苦情が寄せられております。

首都圏全体での騒音の分担を求めてきた中、機能強化に伴う新飛行ルートの実用により、一部時間帯で騒音負担が軽減されるものの、市民生活への影響が大きい時間帯の負担が増えることは認められるものではありません。

つきましては、騒音影響の軽減を求める千葉市民の声を真摯に受け止めていただき、羽田空港機能強化に係る早朝夜間時間帯への特段の配慮と「千葉市上空での交差の解消・低減」「更なる高度の引上げ」「海上ルートへの移行」といった抜本的対策の早期実現、またこれらの対策の検討状況について市民へのわかりやすい情報提供を実施されるよう強く要望します。

平成31年2月6日

国土交通大臣 石井 啓一 様

千葉市長 熊谷 俊人